



コロナウィルス感染爆発 医療崩壊 一刻も早く対応を！

緊急事態宣言拡大 政府の対策が後手後手に回る中、コロナ感染が急速に拡大しています。緊急事態宣言を求める自治体が相次ぎ、主な都道府県はすべて緊急事態または蔓延防止の対象となる事態となりました。

ワクチン接種もまだ行き届かない中で、働く世代に感染者が広がりつつあり、感染している妊婦が病院に搬送されず死産するという無残な事態も起こっています。

ワクチン接種が終わっていないからとか、デルタ株の感染力が強いなどと政府は言い逃れしていますが、対応の遅れと無策が悲惨な結果を生んだことは明らかです。

重症患者も「自宅療養」名目で放棄

この期に及んで政府は医療体制の拡充を図るのでなく、扱いを変えて重症者の自宅療養という方針を出したことに、各方面からその無責任さへの非難の声が高まり、慌てて部分修正したりしています。

施設が足りない、人材が間に合わないため、治療が間に合わないと言うのなら、臨時的野戦病院のような施設を作るべきという声が上がっています。少ないスタッフでも効率よくケアするための対応で、街頭に死体が放置されるような悲劇をもたらさないためです。

中国やイギリスでは、一週間とか10日で設置した例もあります。一刻も早く取り組むべきです。

横浜市長に山中竹春氏！ 菅政権のコロナ無策に断 菅氏の盟友小此木氏惨敗

林市長のカジノ導入を当初争点とした横浜市長選は自民党が菅総理の最側近小此木八郎氏(前国家公安委員長)を立てて加わり、総理が「全面支援」したにも拘わらず、菅政権のコロナ対策への不信が吹きだし、野党共闘の候補、山中竹春氏(元横浜市立大学教授)が大勝しました。山中氏50万票余、小此木氏32万票余、という大差です。

菅政権そのものの存立が問われることになりました。菅降ろしが始まり、総裁選も一気に加速しそうです。



当選を喜ぶ山中竹春氏

イギリスではサッカーで

イギリスのジョンソン首相はさまざまなコロナ関連の規制を基本的に解除し影響を追跡調査しています。7月11日英国でサッカー欧州選手権イタリアとイギリスの決勝戦が行われ、スタジアム周辺にはマスクもしないサポーターが集まり、騒いだ。そのうち2295人は感染者。そこから3404人が新たに感染したと報告されています。

東京パラリンピックに児童生徒の観戦 委員の反対無視し、都教委強行

組織委員会がパラリンピックは無観客実施を決めたにもかかわらず、8月18日都の教育委員会が開かれ、都教委は児童・生徒の観戦動員を認めました。

子どもたちの会場での観戦について、教育長は実施することを報告しましたが、委員からは「今は非常事態だ。リスクを背負って行くほうが教育としてもマイナスだ」、「今、寄り添うべきは医療体制だ。テレビによる観戦でも教育の効果はある」などといった意見が出て、出席した4人の委員全員が反対しました。

これに対して、藤田教育長は「意見はもともとだが『見たい』という強い希望が現場から寄せられている。万全の対策をとって可能性を追求するのがわれわれの使命だ」と、意見が対立。そのまま会議が終わるといふ異例の事態となりました。その結果委員会の意見を無視して教育長が独断で強行したのです。子供の命の危険があっても見せる教育的価値とはいったい何でしょう。



藤田裕司 教育長

なぜこんなことが起こる

長い間教育委員会は行政から独立した委員会として行政に物申すことのできる組織のはずでした。しかし7年ほど前に、いじめで自殺した子供の実態を教育委員会が十分な調査もせず、実態も把握していないと批判を浴びた事件が相次ぎ、教育委員会は一般行政の一部門ではないとして知事などの直接指揮下になく責任のあいまいさを問題にされました。教育委員会の実行組織、事務方を務めるのが教育庁という役所で、その長が教育長です。これは自治体の長が任命します。事件を理由に政府は教育委員会の長である教育委員長は教育長が兼ねるように法改正しました。もともと戦後の改革の一つとして教育が政治の言いなりにならないように、選挙で教育委員を選ぶ制度として発足したのが教育委員会です。首長の任命になり、教育統制がさらに進んだといえるでしょう。

丸木位里・俊 作

「沖縄戦の図」 のある美術館

…沖縄普天間基地の中に???!!…



1994年、長い道のりを経て「佐喜真美術館」（丸木位里・俊作「沖縄戦の図」を展示）が開館しました。埼玉県東松山市にある「原爆の図丸木美術館のことはご存知の方も多と思います。

原爆が広島に落とされた直後、広島市内に入りその惨状を見、原爆の図を描いた丸木夫妻は、その後、凄まじい地上戦の沖縄戦を描くために沖縄に向かいました。沖縄戦で九死に一生を得た人達に会い、その人たちと一緒に彼らが生き残ったという現地に行き、話を聞きました。

集団自決のあった渡嘉敷島、読谷村のチビチリガマ。多くの人々が断崖絶壁から海に飛び降りた沖縄最南端の喜屋武岬。日本軍の兵士が住民を虐殺した久米島。丸木夫妻はこれらの「沖縄戦の図」をどうしても沖縄の美術館に展示することを望みました。

1984年佐喜真光義氏は夫妻の望みに叶う美術館を建設するため3年間奔走しましたが多くの土地が米軍に接収されている沖縄では困難を極めました。

そして（米軍基地の中の自分の先祖代々の土地）先祖の眠る亀甲墓のある緑豊かな土地に気づきました。米軍から土地を返還させよう！日本政府に米軍と交渉するよう依頼し続けて3年。しかし日本政府は動きませんでした。そこで地元宜野湾市長を通じて在沖米軍基地不動産管理事務所と直接交渉を続け、ついに美術館建設のための土地が返還されました！18年の歳月が経っていました。

米軍基地のフェンスと隣接ながらも素晴らしい松並木のある美術館。（戦中は日本軍によって塹壕の支柱とするため、戦後は米軍基地建設のため一本もなくなった松並木）。佐喜真家の亀甲墓のある前庭、屋上から眺める海……。凄まじい沖縄戦を描いた絵とそれを包み込む美しい美術館……。

開館時に沖縄タイムスは「文化が基地を押し返した」と報じました。ラジオでは永六輔さんが、テレビでは筑紫哲也さんが、執筆で岡部伊都子さんと灰谷健次郎さんが取り上げ、各地から修学旅行生も訪れるようになりました。

今年6月、NHKの日曜美術館でこの佐喜真美術館が放送され、私は初めてこのことを知りました。コロナ禍が収まったらすぐにでも訪れたい美術館です。



佐喜真美術館

花山富佐子

参考文献 岩波ブックレット「沖縄・佐喜真美術館の軌跡」

コロナウイルス変異に対応を

コロナウイルスの特徴はどんどん変異して新しい種類が生まれることです。その新型に対して最初に発見された中国とかイギリスとかインドなど地名や国名を当てると差別や偏見につながるとして、WHO はギリシャ文字を当てることを決めました。

◆ 中でも「懸念すべき変異株」（VOC）として

- ・イギリス由来の変異株 α アルファ株
- ・南アフリカ由来の変異株 β ベータ株
- ・ブラジル由来の変異株 γ ガンマ株
- ・インド由来の変異株 δ デルタ株

◆ 「注目すべき変異株」（VOI）として

- ・アメリカ合衆国由来の変異株 ϵ イプシロン株
- ・ブラジル由来の変異株 ζ ゼータ株
- ・複数国由来の変異株 η イータ株
- ・フィリピン由来の変異株 θ シータ株
- ・アメリカ合衆国由来の変異株 ι イオタ株
- ・インド由来の変異株 κ カッパ株
- ・ペルー由来の変異株 λ ラムダ株

という具合です。ギリシャ文字24文字を使い切ったときは別の名称を考えるとっています。

なぜこんなことを紹介するかと言えば、すでにこんなに多様な変異種が出現しており、今後も続く。短期的に新しいウイルスに対するワクチンを輸入するなどという対応では間に合いません。いままワクチンの争奪戦が起こっています。しっかりと対応できるワクチン開発を国内でも急がないと、とんでもないことになるからです。ワクチン・治療薬を開発し国際貢献を！

沖縄の危機！

沖縄県はGOTOキャンペーンの頃以来コロナ感染拡大が止まりません。玉城デニー知事は8月12日、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、陸上自衛隊第15旅団（那覇市）に災害派遣要請をしました。

要請したのは看護官5人で、県が運営する入院待機ステーションでの医療支援。これを受け、防衛省統合幕僚監部は12日午前、12日から25日までの間、看護官1人、准看護師4人を派遣すると発表しました。県が新型コロナ関連で自衛隊に災害派遣要請したのは、4回目。

感染拡大のピークが見通せない中、特に沖縄本島では医療提供体制が危機的な状況にあります。県は、入院先が見つからない場合の一時的な待機場所を確保するため、入院待機ステーションの受け入れ体制を緊急的に強化する必要があると判断したものです。

おおたかの森駅宣伝と署名(毎月9日)

9月9日(木) 15:30~16:30

おおたかの森駅自由通路

カンパはこちらの郵便振替口座へ
00130-5-464735 口座名 九条の会・流山